

RKB 毎日放送

活動名	小学校授業支援事業
実施期間	令和 6 年 10 月 31 日（木）、11 月 1 日（金）
実施回数	社内見学 2 回

【実施学校】

うきは市立福富小学校、うきは市立千年小学校

【事業実施の成果・課題】

2 校の小学生を対象に実施したが、両校の先生共に今回の事業実施に対しての感謝の言葉を頂いた。「メディアリテラシー」の重要性については普段の授業でも取り扱っているようだが、放送局という場所で実施した事、また講師が元アナウンサーという事でより説得力のある内容になったのではないかと感じている。

スケジュールの都合で授業が 30 分程度であった。もう少し時間が取ればより深い話も出来たのでは無いかと思っている。

【事業担当者・講師の感想】

学校で学習していることもあり、興味深く私の話に耳を傾けていた。その中で、「真実を見極めるために必要な事は何か」「ライバル社との関係はどうなっているのか」など数多くの質問も受け、小学生の意識の高さを感じた。

また、「ニュースができるまで」をより現場に近い立場で話し、同時にスタジオ見学やニュース原稿を読むという体験と組み合わせることでよりリアリティを感じ取ってもらえたのではないかと考えている。

今後、ニュースや放送を視聴する際に見方が変わることを期待している。

【教諭・子どもたち・視聴者などの感想】

- ・学校で習っていないところなど習ったところが詳しくわかった。
- ・速報性、正確性、公平性、公共性がわかった。
- ・この世の中で自分でも情報を発信することが出来るような情報社会だから情報を伝える人として、速報性 正確性 公平性 公共性を大切にしたいと思いフェイクニュースかどうかを自分でわかるようにしたい。
- ・自分で、自分を守る大切さ。
- ・メディアリテラシーを身につけたいと思った。
- ・まず、放送する時には、それが本当に、真実かを確認してから、放送するということがわかりました。他にも、演技で、放送しては、いけないということがわかりました。